

14. マルメロ

・殺菌剤

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
M1	I Cボルドー412	散布	-	-	
M1	キノンドー水和剤80	散布	収穫14日前まで	4回以内	
3	スコア顆粒水和剤	散布	収穫7日前まで	3回以内	
M5	ダコニール1000	散布	収穫30日前まで	4回以内	
3	トリフミン水和剤	散布	収穫14日前まで	3回以内	

・殺菌剤（参考農薬）

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
1	トップジンMペースト	塗布	剪定整枝時、病患部 削り取り直後、及び 病枝切除後	3回以内	

・殺虫剤

IRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
3	アディオフロアブル	散布	収穫14日前まで	2回以内	
1	サイアノックス水和剤	散布	収穫45日前まで	2回以内	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

品種や気象条件により収穫時期が異なるので、薬剤の使用時期（収穫前日数）に注意する。
 農薬の使用回数は、前年の収穫後から本年の収穫までの期間の使用回数であるので注意する。

病 害 虫 名	防 除 時 期	防 除 方 法	注 意 事 項
ごま色斑点病	全 期 間 (特に開花期間中)	1. 病原菌は被害落葉上で越冬し、翌年の第一次伝染源となる。発生園では被害落葉を集め、焼却するか埋却する。 2. ICボルドー412の30倍液、ダコニール1000の1,000倍液、キノドー水和剤80の1,200倍液、スコア顆粒水和剤2,000倍液のいずれかを散布する。	1. キノドー、ダコニールは魚毒に注意する。
腐らん病	全 期 間	1. 発生を認めたときは被害枝を剪除するか、病患部を完全に削り取る。削りかすなど被害残渣は焼却するか埋却する。傷口にはトップジンMペースト [参考農薬] を塗布する。	
赤 星 病	開 花 期	1. トリフミン水和剤2,000倍液を散布する。 2. 赤星病は中間宿主としてビャクシン類を経過するので、ビャクシン類を伐採する。	
黒 点 病	6 月 ~ 8 月	1. 袋掛けを遅れないように実施する。	
シンクイムシ類	4 月 ~ 9 月	1. サイアノックス水和剤1,000倍、アディオフロアブル1,500倍液のいずれかを散布する。 2. 袋掛けを併用する。	1. アディオンは蚕毒及び魚毒に特に注意する（特別指導事項参照）。